

Message

海を越えてはばたけ、ジュニア会員!



ご入学、ご進級おめでとうございます。

新年度を迎え、希望に満ちていることと思います。

長かったコロナ禍生活も、5月には季節性インフルエンザと同じ第5類に引き下げられ、日常が戻ってきます。これまで、我慢してきたことがたくさんありましたね。

生徒・学生の皆さんにとって、我慢を強いられてきたことの一つに留学があげられるのではないのでしょうか。独立行政法人 日本学生支援機構から2023年3月に発表された「2021（令和3）年度 日本人学生留学状況調査結果」(https://www.studyinjapan.go.jp/ja/_mt/2023/02/date2021n.pdf)によると、日本人の大学生の留学者数は、2019年度は107,346人でしたが、2020年度は1,487人、2021年度は10,999人と激減しており、2019年度と比べるとそれぞれ、約99%減、約90%減となっています。2022年度は、ワクチン接種が進み、留学先各国の入国条件が緩和され、復活しつつあると思いますが、9月末頃から円安が進み、経済的には厳しい状況が続いています。

でも、ここで怯まないでください!!

日本政府も、皆さんの留学を応援しています。文部科学省では、「トビタテ!留学JAPAN」(<https://tobitate.mext.go.jp/>)というプログラムを実施しており、高校生、高専生、大学生の留学を支援しています。2022年7月には、「トビタテ!留学JAPAN」第2ステージとして、コロナ禍で落ち込んだ留学数を2027年度までに少なくともコロナ前の水準に回復することを目指して、産学官あげてグローバル人材育成の取り組みを強化することが発表されました。高専生・大学生のコースにはSTEAM (Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics) コースが設けられており、皆さんにとって、大きなチャンスです。高校生のコースでも、マイ探究コース、社会探究コースの支援予定人数の3割程度を「STEAM枠」としており、ジュニア会員の皆さんのための留学支援とも言えるでしょう。

他にも、多くの大学では協定大学留学制度があり、授業料免除の留学も可能です。是非、自分の大学の留学制度を調べてみてください。高校生も、AFS (<https://www.afs.or.jp/>) やYFU (<https://yfu.or.jp/>) など、世界各国のボランティア・ネットワークに支えられている交換留学のプログラムがあります。私費留学よりも費用がかかりませんし、奨学金も、公的機関や民間法人などによる支援が多数ありますので、全員にチャンスがあります。

これらの応募期間は、4月から始まることが多いので、今、このコラムを見て心が動いた人は、直ぐに行動に移してください!

コロナ禍で学校や塾がオンライン授業になり、自宅にしながら色々なことが学べるようになりました。YouTubeやアプリにも多くの優良な教育コンテンツがあり、オンライン教育は、皆さんにとって身近な存在になったことと思います。しかし、皆さんは、3年間のオンラインの勉強を経験し、対面でしか得られないことも学んだのではないのでしょうか。

皆さんは、新型コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻、気候変動による災害など、予測できない激動の時代の真ただ中を生きています。日本には、少子高齢化、労働人口減少など、待ったなしの課題が山積みです。このような時代を生き抜くためには、Society5.0で目指しているように、新たな価値で経済発展と社会的課題の解決を両立していかななくてはなりません。これらの実現に向けては、想像を超える多くの刺激を心と体で感じ、異なる文化と化学反応を起こすことが、突破の糸口になるのではないかと考えます。ジュニア会員の皆さん、新年度を迎えた今、将来を見据えて大きな一歩を踏み出してください！

最後に、電子情報通信学会HPのジュニア会員のページに「GLOBAL 世界をのぞこう」(https://www.ieice.org/jpn_r/junior/global.html)があります。日本へ留学した外国人、海外へ留学した日本人の体験談などが掲載されていますので、興味のある人はアクセスしてみてください。

(日本女子大学 小川賀代)

